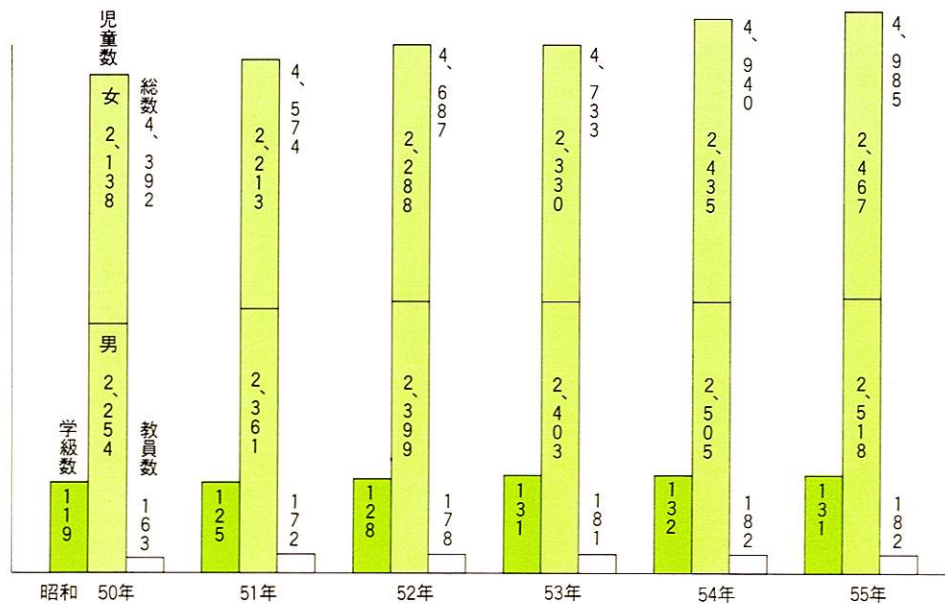


● 小学校学級数および児童数・教員数の動き



● 未来へつなぐ学校教育

次代の担い手をつくる学校教育は、市のもっとも大切な仕事です。

現在、市には小学校7、中学校3が設置されていますが、すべて鉄筋化され、広い校庭と体育館、プールをそなえ、きわめてめぐまれた環境にあります。54年度には第二中学校の体育館の建て替え、第二小学校のプールの改築、全小学校のテレビのカラー化など学校施設をととのえ、子どもたちがのびのびと勉強に打ち込めるような教育環境の整備に、今後も努めます。

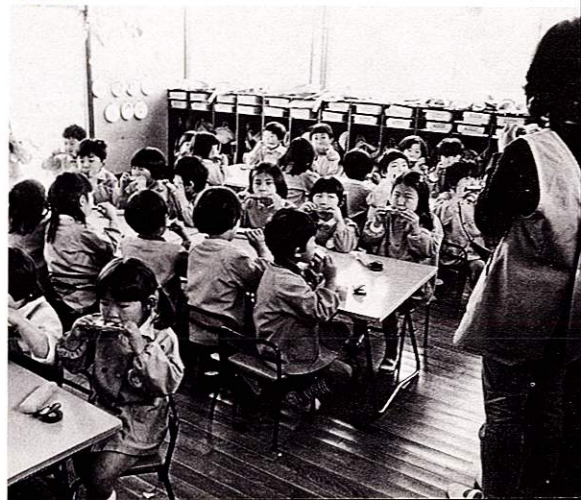
もうひとつの学校

学校といえば、小学校、中学校などがありますが、そればかりではありません。子どもからお年寄りまで、だれでも自由に利用できる学校があるのです。公民館本館やことし、5月にオープンにした公民館白梅分館がそうであり、昨年5月にオープンした公民館松林分館、中央図書館、市民体育館、地域会館などがそうです。地域の教育・文化・レクリエーション活動、地域住民の集会など多目的に利用できるみんなの学校なのです。

子どもサバイバル教室



幼稚園



●開かれる障害学級

市の心身障害学級は、昭和47年4月第一小学校内に福原学級、51年には第一中学校に中学生対象の学級が設置され、小中一貫した教育体制がととのいましたが、52年度からは新たに第二小学校内にも熊川学級が開設されました。なお、現在、第一小学校の福原学級はひまわり学級と改称されています。

●第2給食センターも稼動

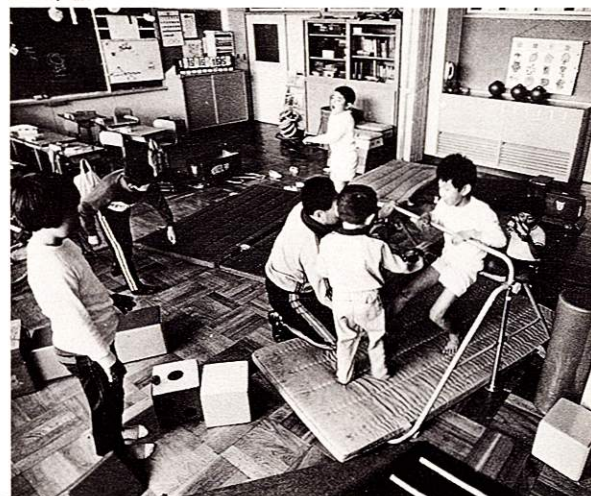
現在、小学校は完全給食を実施していますが、児童の増加にともない、昭和54年9月から第2給食センターが稼動しはじめました。

この施設は処理能力が3,000食で、米飯の調理機などが整備されています。

体育館でノビノビ授業



熊川学級



第2給食センター

